

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	「通い」「泊まり」「訪問」の3つのサービスを、一つの事業所のスタッフが柔軟に組み合わせて提供 ● 24時間365日の切れ目ない支援 顔なじみのスタッフが「通い」でも「泊まり」でも、あるいは自宅への「訪問」でも対応するため、環境の変化に敏感な利用者（特に認知症の方など）も安心して利用 ● 柔軟なスケジュール調整 一般的なデイサービスと異なり、急な「泊まり」の必要性や、短時間の「通い」など、その日の本人や家族の状況に合わせた柔軟な対応が可能 ● 「ふらっと」立ち寄れる関係性 「ふらっと」という名称には、誰もが気軽に立ち寄り、利用者・家族・スタッフ・地域が「フラット（対等）」な関係を築くという想いが込められている ● 医療・介護の連携 運営はエフビー介護サービス株式会社。協力医療機関として「武市医院」や「玉井歯科医院」と連携しており、健康面での安心感を提供する
事業所名	あったかほーむふらっと坂城	管理者	依田 憲幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	1人	0人	1人	0人	1人	1人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	記録媒体を活用しながら、利用者様の意向を適宜確認し、根拠を精査しながら、モニタリングやカンファレンスの内容を充実させていく。	根拠に基づいたケアにより、 unnecessaryな拘束や過剰な介助が減り、利用者が「自分らしい生活」を取り戻す。意向が反映されることで、サービスへの満足度と安心感が高まった。	特になし	「根拠のある介護による、利用者・家族・職員三者の高い納得感の醸成」を行っていく
B. 事業所のしつらえ・環境	施設外周にも目を配りながら、訪問しやすい環境を作っていく。	スタッフによる「外」への挨拶 外周清掃時や送迎時に、近隣住民や通行人に対して明るく挨拶を励行し、「開かれた施設」であることを行動で示す。	特になし	「施設の透明性を高め、地域資源としての価値を最大化すること」を地域の方にも理解いただける活動を行っていく
C. 事業所と地域のかかわり	継続して、地域の方を招くイベントを計画し、地域との関係性を構築していく。また、ボランティア等の受け入れも活発に行っていく。	「施設を地域のプラットフォーム（交流の場）へと昇華させ、持続可能な経営基盤を確立すること」までは出来ていなかった	特になし	「施設が地域インフラ（社会資源）として不可欠な存在になること」を目的に地域との関わりを深めていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	事業所のサービスだけで支えていくのではなく、地域資源の活用と共に、自宅や地域で暮らす利用者様の生活を支援していく。	施設内での活動にとどまらず、地域の自治会行事や趣味のサークル、通いの場（サロン）への復帰を具体的に支援するまではまだ未達成	特になし	「住み慣れた地域での継続的な生活（エイジング・イン・プレイス）の実現」ができる環境を作っていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	継続して、地域課題の集約を行いながら、事業所として出来る提案・実施を行っていく。	「介護サービスを売る場所」から「地域の困りごとを解決してくれるパートナー」へと認識が変化するまでは至らない。次回へ	特になし	「介護サービスを売る場所」から「地域の困りごとを解決してくれるパートナー」としての立ち位置となれるようにしていく
F. 事業所の防災・災害対策	事業所内を環境や利用されている方の特性を理解していただきながら、有事の際に互いに協力できるように情報共有を行っていく。	具体的な取り組み迄には至っていない。次回も継続して行っていく	特になし	外部協力者向けの「緊急時対応ハンドブック」の作成や、利用者特性を簡潔に伝えるための「有事用ケアカード」等具体的な活動を行っていく